

青森県高等学校商業教育研究会  
 研究誌編纂委員会 発行  
 編集者 青森県立弘前実業高等学校 鈴木 真史  
 青森県立大湊高等学校 川口 真史  
 青森県立三沢商業高等学校 向谷地 史拓

各種大会報告

第72回全国高等学校ビジネス計算競技大会

青森県予選会

日時：令和7年6月7日(土)

会場：青森商業高校

【珠算の部】

- 団体
  - 第一位 三沢商業高校
  - 第二位 八戸商業高校

● 個人

- 第一位 三沢商業高校 太田 若馬
- 第二位 三沢商業高校 下田 稜
- 第三位 三沢商業高校 坂澤 里優
- 第四位 三沢商業高校 沢居 悠希
- 第五位 三沢商業高校 鎌本 紅
- 第六位 青森商業高校 後藤 愛里



【電卓の部】

- 団体
  - 第一位 三沢商業高校
  - 第二位 八戸商業高校
  - 第三位 青森商業高校



● 個人

- 第一位 三沢商業高校 根岸 沙耶
- 第二位 三沢商業高校 大田 晟
- 第三位 三沢商業高校 千夢 来
- 第四位 三沢商業高校 宮部 初音
- 第五位 三沢商業高校 永初 真
- 第六位 八戸商業高校 千能 葉瑠

第37回全国高等学校情報処理競技大会青森県予選会

日時：令和7年6月14日(土)

会場：青森商業高校

● 団体

- 第一位 弘前実業高校
- 第二位 三沢商業高校
- 第三位 八戸商業高校

● 個人

- 第一位 弘前実業高校 佐藤 紘也
- 第二位 弘前実業高校 工藤 夏樹
- 第三位 三沢商業高校 住吉 玲菜
- 第四位 弘前実業高校 小嶋 凛香
- 第五位 弘前実業高校 奈良 叶多
- 第六位 三沢商業高校 藤本 愛音



第41回全国高等学校簿記競技大会青森県予選会

日時：令和7年6月21日(土)

会場：三沢商業高校

● 団体

- 第一位 三沢商業高校
- 第二位 八戸商業高校
- 第三位 弘前実業高校

● 個人

- 第一位 三沢商業高校 寺井 瑠貴
- 第二位 三沢商業高校 石川 友菜
- 第三位 弘前実業高校 田中 真那
- 第四位 八戸商業高校 竹井 心輝
- 第五位 三沢商業高校 須藤 那
- 第六位 三沢商業高校 佐々木 珠緒



第7262回青森県高等学校ワープロ競技大会兼第72回全国高等学校ワープロ競技大会県予選会

日時：令和7年6月21日(土)

会場：八戸商業高校

● 団体

- 第一位 八戸商業高校
- 第二位 三沢商業高校
- 第三位 青森商業高校

● 個人

- 第一位 三沢商業高校 稲田 悠花
- 第二位 八戸商業高校 殿村 悠
- 第三位 八戸商業高校 大田 泉
- 第四位 八戸商業高校 小比類 望
- 第五位 八戸商業高校 永田 倫
- 第六位 三沢商業高校 稲田 悠花



全国大会に向けての抱負

【ビジネス計算競技 珠算・電卓 団体】  
 三沢商業高等学校 太田 若那

私たちは、7月24日に横浜武道館で行われる第72回全国高等学校ビジネス計算競技大会に出場します。全国大会ではかなりレベルの高い問題が出題されます。日頃の練習で基礎問題から応用問題をしっかりと確認し準備していきます。全国大会に出場する十人をはじめ、部員全員で両部門ともに「日本一」に向かって全力で臨みたいと思います。応援してくれている多くの方々の良い報告ができるよう精一杯頑張りますので、応援よろしくお願ひします。



【ビジネス計算競技 珠算 個人】  
青森商業高等学校 後藤 愛里

県予選会にて、全国大会出場選手となりました。全国大会での目標は、三年間で学び、身につけた力で自己ベストを更新することです。今まで継続してきた隙間時間の練習を大切に、苦手な応用計算で解ける問題を一間でも多く増やせるようにしたいです。今までの練習を必ず結果に結び付けられるよう精一杯挑みたいと思います。

【ビジネス計算競技 珠算 個人】  
八戸商業高等学校 清水 心路

先日の県予選会において、全国大会出場という結果を得られたことを誇りに思います。この成果は、共に練習を重ねてきた仲間たちの支えがあってこそ得られたものであり、心から感謝しています。7月24日に開催される全国大会に向けて、私は一意専心、日々の練習に励んでいます。憧れの舞台で自分の力を最大限に発揮し、全力で挑みます。

【ビジネス計算競技 電卓 個人】  
八戸商業高等学校 千葉 瑠葉

今までの厳しい練習を仲間と共に乗り越え、夢であった全国大会出場を果たせたことを、大変光栄に思います。日々の練習では、数字の美しさや問題を解く速さにこだわり努力を重ねてきました。予選会で感じた思いや課題を糧に、これまで一緒に練習してきた仲間や支えてくださった顧問の先生への感謝の気持ちを込めて、全国大会では全力を尽くします。

【ビジネス計算競技 電卓 個人】  
八戸商業高等学校 藤谷 和

県予選会にて、全国大会への切符をつかみ取ることで、大変嬉しく思います。この成果は、共に支え合い、切磋琢磨してきた仲間の存在があってこそ得られたものだと感じています。日々の練習では、正確さとスピードの両立を常に意識し、安定した得点が取れるよう努めています。予選会で見つけた課題を克服するため、学校での練習に加え、自宅でも自主的に取り組んでいます。全国大会では、これまでの練習の成果を十分に発揮できるように全力を尽くしてきたいと思います。

【情報処理競技 団体】  
弘前実業高等学校 小嶋 凛香

私たちは、第37回全国高等学校情報処理競技大会青森県予選会、団体の部で優勝し、全国大会出場を決めました。今までより多くの問題を解けるように、様々な問題に取り組み、力を高めてきました。日々の練習で培ってきた知識と経験を力に変え、青森県代表・学校代表として誇りを持ち、全国の舞台でも一人ひとりの目標を達成できるように、全力を尽くします。



【情報処理競技 個人】  
三沢商業高等学校 住吉 玲菜

私たちは、7月26日に千葉商科大学で行われる第37回全国高等学校情報処理競技大会へ出場してきます。予選の結果は、団体二位という結果でしたが、全員が最後まで諦めず取り組むことができたと思います。個人の方では全国大会の出場権をいただけたので、最初で最後の機会として全力で取り組む一方、楽しむことを忘れずいい経験にしたいです。これまで応援して下さった皆さん、先生方、ありがとうございました。そして、これからも一生懸命取り組んでいきますので、応援よろしくお願ひします。

【情報処理競技 個人】  
三沢商業高等学校 藤本 愛音

7月26日に千葉商科大学で行われる第37回全国高等学校情報処理競技大会へ出場してきます。予選の結果は、団体二位という悔しい結果でしたが、目標としていた団体優勝は叶いませんでした。個人では佳良賞となり、全国大会の出場権をいただけたので、これからは本番に向けて繰り返し学習し努力を重ね、自己最高得点を出し、悔いのない結果にしたいです。そして、これからも全力で取り組むので、応援よろしくお願ひします。

【簿記競技 団体】  
三沢商業高等学校 寺井 瑠貴

私たちは、第41回全国高等学校簿記競技大会青森県予選会で優勝し、千葉商科大学で行われる全国大会に出場することになりました。この結果を残せたのは、私たちを支えてくださった皆さんの存在があったからです。ありがとうございます。私は予選会を万全な体調で迎えることができず、改めて体調管理の大切さを学びました。初めての全国大会となりますが、体調をしっかりと整え、悔いの残らない結果を残せるよう頑張ります。



【簿記競技 個人】  
八戸商業高等学校 石川 友菜

私は、7月25日に千葉商科大学で行われる全国高等学校簿記競技大会に出場します。全国大会への出場が決まったのは、いつも熱心にご指導くださった顧問の佐々木郁子先生と田中純恵先生、県予選までの練習期間に切磋琢磨し、互いに高め合えた仲間のおかげです。全国大会は、かなり厳しい戦いになると覚悟していますが、今の自分の弱点を克服し、より成長した姿で、青森県代表として臆することなく大会に臨みたいと思います。

【簿記競技 個人】  
弘前実業高等学校 田中 聖真

私は全国大会出場を目指し、県予選会に臨みました。周りは三年生が多く、最初はとても緊張していましたが、時間が経つにつれ、緊張がほぐれていきました。いつもの自分の力を発揮することができ、三位になり、全国大会出場を果たすことができました。全国大会に向け、今の自分の培ってきた簿記の知識と技術を最大限発揮できるように、一日一日の積み重ねをもっと大切にしていきます。

【ワープロ競技 団体】  
八戸商業高等学校 殿村 漣

ワープロ部は7月29日に東京都立産業貿易センター台東館・台東区民会館で開催される第72回全国高等学校ワープロ競技大会に出場します。個人・団体ともに全国優勝を目標に掲げ、日々練習を重ねてきました。本番では、これまでの努力を信じ、緊張に負けず、落ち着いて実力を発揮できるように、全力で臨みます。支えてくださった先生方や仲間、応援してくださる皆様への感謝の気持ちをお胸に、全力を尽くします。応援よろしくお願ひいたします。



【ワープロ競技 個人】  
三沢商業高等学校 稲田 悠花

私は、今回個人で全国大会に出場します。予選では惜しくも団体第二位で、団体としての出場は叶いませんでしたが、三年生は私一人、あとは後輩という構成で戦い抜いた結果には誇りを感じており、悔いも後悔ありません。後輩たちが繋いでくれた全国の舞台、個人という厳しい状況でも、皆の思いを胸に全力で挑みます。

【ワープロ競技 個人】  
三沢商業高等学校 小山石 優風

私は全国大会予選会で第六位で入賞することができました。私は今回が初めての全国大会出場なので、緊張せずに打つことはもちろん、これからの練習や遠征等に活かせる良い経験を積むことを目標に頑張りたいと思います。個人で打数を伸ばすことは難しいとは思いますが、自己ベストを出せるように日々の練習にしっかりと一つ一つ丁寧に取り組んでいきたいです。そして、県大会では達成することの出来なかった目標である「エラ10」を次は全国大会で達成することを目指して頑張りたいと思います。

# 各校での取り組み紹介

## 弘前実業高校 学科集会

今年度も商業科、情報処理科の3学年合同集会を行いました。商業科主任より商業の見方・考え方についてお話いただき、その後各学年2名ずつの班を組み、科目について、進路についてなど他学年から情報収集を行い、理解を深めることができました。

## プログラミング特別講座

5月23日（金）に本校情報処理科の1年生を対象に、ITラボ株式会社の代表取締役の新山氏をお招きし、実務に即したプログラミング講座を実施しました。生徒たちは、この講座をとおして、プログラミングへの関心をより一層深めることができました。



## 八戸商業高校 「あおもり創造学」

本校では、2、3学年の課題研究の授業において、「あおもり創造学」を通じた地域の魅力発信や地域課題の解決に取り組んでいます。



今年度も、外部講師による講義やグループワークを随時実施しており、これまでに八戸市役所の職員や地域コーディネーターの方々から、八戸市の課題や地域での実践的な取り組みについてお話を伺いました。



地域の現状や課題を自らの目で見えて考察し、若い視点から解決策を提案する力を養っています。

## 三沢商業高校 簿記最先端教育「SAH」

本校は「スーパー・アカウンティング・ハイスクール」として、平成27年4月より日本最先端の簿記教育に取り組んでいます。

新入生全員が日商簿記検定2級合格を目指し、ICTを活用した反転授業や公認会計士による指導、質問共有システムなどで理解を深めます。

4月28日には講師を招き、実社会での会計の重要性について学びました。進学や就職にも直結する力を育てる、実践的で先進的な取り組みです。



## 三戸高校 みらい探究コース、クリエイティ部

三戸町の魅力発信を行うクリエイティ部は、外部と連携しながらポスター制作や商品開発を行っています。大ヒット「ひつつみキーマカレー」に続けと新たな商品を考案中です。これらの活動を商業科でも支援するため、今年度はみらい探究コース3年に「商品開発と流通」を設定、来年度は同コース2年に「観光ビジネス」を設定予定です。



＜昨年度作成したポスターを三戸警察署へ贈呈＞  
三戸町内に貼られているので、三戸町にお越しの際には御覧ください。

これまでの商業科の取組みに観光教育をプラスし、三戸の魅力をさらに高めるため商業科一丸となって支援していきます。



＜ひつつみキーマカレー＞

現在完売中ですが、8月以降再販予定です。

## 黒石高校 情報デザイン科の取組

本科では「地域共創・未来創造」をスローガンに掲げ、地域と連携した学習活動を積極的に展開しております。



特に学科を開設して間も無くから取り組んだ「バズる商品開発」を皮切りに、本科が主体となり、かつ学科の特徴を活かした産学、官学、産学官による連携事業に取り組んでいるところです。



3年生での課題研究授業、2年生でのデザイン実習授業を通じて「ここでなければできない実践」にこれからも挑戦していきたいと考えています。



## 青森商業高校 グローバル人財育成事業

6月13日（金）、台北市立士林高級商業職業学校と第1回オンライン協働探究学習を行いました。お互い学校紹介を行い、それぞれの学校の歴史や特徴を知ることができました。また、グループごとに英語で自己紹介を行い、質問をしました。本校生徒は感動し良い刺激を受けました。大いに盛り上がった協働探究学習は、お互いに貴重な経験となりました。



## 下山学園高校 学生ボランティアへの参加

4月19日・20日に行われた「菊が丘公園桜祭り・鶴の舞橋春まつり」の学生ボランティアに参加しました。内容としては、販売実習がメインでしたが、本校のダンス愛好会が鶴の舞橋春祭りにてパフォーマンスを行いました。商業科の授業だけでは学ぶことのできない実際の現場に立つことで、接客や働くことのやりがいを感じることができました。

